

職業としての農業フォーラム

期間 令和元年9月17日～令和2年2月18日

2月12日(水)、秋田県仙北地域振興局及び本校の共催で、地域農業後継者の確保を目指すとともに本校生徒の就農意識を啓発することを目的として「職業としての農業」フォーラムが開催されました。

フォーラムの内容については次のとおりです。

開会行事

- ・柴田課長あいさつ(秋田県仙北地域振興局農林部農業振興普及課)
- ・小野教頭あいさつ(大曲農業高等学校)

長期インターンシップ報告

- ・農業科学科1年相馬浩陽、千葉雄大 (グリーンたざわ湖)
- ・農業科学科1年小田島こゆき (農事組合法人なかむら)
- ・食品科学科1年田口右京、園芸科学科1年鈴木優斗(春興園)
- ・農業科学科2年高橋尚希 (アグリフォー太田)
- ・園芸科学科2年千葉優太郎 (サンファーム西木)

事例紹介

- ・農事組合法人なかむら 部門担当 上釜翔太 氏
- ・株式会社秋田食産 社長 佐藤良一 氏

分科会

分科会	課 所 名	業 種	講 師 名
1	林 業 大 学 校	林業関係 (県職員)	成 田 義 人 氏 金 澤 正 和 氏
2	J A 全 農 あ き た	農業関連	中 嶋 正 成 氏 佐 藤 俊 博 氏
3	J A 秋 田 お ぼ こ	農業関連	会 田 瑞 希 氏 村 田 希 悠 氏
4	大 曲 農 業	教 職 員	三 浦 豊 薫 氏 照 井 和 氏
5	農事組合法人なかむら 農事組合法人金鑑	農業法人	上 釜 翔 太 氏 畠 山 桂 数 氏
6	一 般 農 家	農 業	木 元 克 典 氏 横 澤 泰 志 氏
7	県 職 員	行 政 (県職員)	飯 塚 悠 莉 子 氏 伊 藤 みのり 氏

(全体会から)

全体会では、柴田課長及び小野教頭から本フォーラムの意義等についてあいさつがありました。その後、秋田県仙北地域振興局の事業である「農業高校生インターンシップ研修」(長期インターンシップ)に参加した生徒から、研修報告がありました。この研修に参加した生徒からは、「自分の進路選択に役に立った」とか、「学校では体験できない実習ができた」など、将来を見定める研修として有意義であったと報告がありました。

事例紹介では、「職業としての農業の大切さ」や「マーケティングの考え方と付加価値の高め方」についてお話がありました。

(分科会から)

農業及び農業関係分野の7分科会から生徒は自分の希望する3つの分科会を選択し、各分科会のお話を聞くことができました。

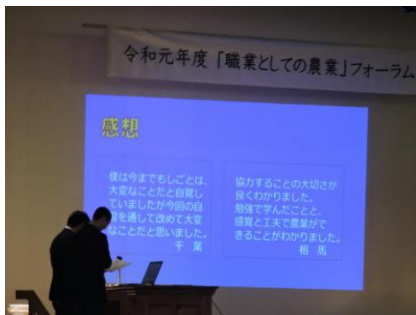
講師からは「現在の職種や業種の説明」、「現在の職に就くに当たり高校時代に頑張ったこと」、「現在の職のやりがい」や「今後高校生活で頑張ればよいと思うこと」などについてお話しがありました。それに対して、本校生徒から「現在の職に必要な資格は何か」とか「高校時代の部活動では何が身に付いたか」などの質問があるなど、講師と生徒が近い距離で対話的な分科会が実施できました。

(生徒の感想から)

- ・分科会で様々な分野のお話を聞くことができ、農業や農業に関連した職業の理解を深められた。
- ・今まで知らなかったことが、このフォーラムをとおして知ることができ、将来は農業を視野に入れた職業選択を考えたい。
- ・京都府出身の泰志さんは、裸一貫からのスタートであったが、あきらめない心に感銘を受けた。
- ・改めて、農業の大切さを理解した。
- ・夢の実現に向けて知識を広げ、自分の将来の選択肢を増やしていきたいと感じた。
- ・将来に向かってしっかり考えていかなければならないと思った。
- ・将来の職業として農業はあまり視野に入っていなかったが、今日のフォーラムをとおして農業もいいなと思った。
- ・農業以外にも、農業を陰から支えている職業がたくさんあることを知った。
- ・高校の時に何か一生懸命になれるものを見つけなければいけないと思った。また、何にでも怖がらずに挑戦したほうが良いと感じた。
- ・秋田県だけではなく、日本全体の農業就業人口を増やすことが課題であると感じた。
- ・農業は大変だが、とても生きがいを感じることができる職業であること知った。利益を上げることも大切だが、それ以上に大切なものを見付けられる職業である。
- ・職業としての農業を視野に入れて、将来に生かせるようにしたい。
- ・これからの将来、農業を職業にすることは、良いことだと考えた。農業を職業としない若者が増えてきているので農業を職業にしようと考えた。
- ・農業には何の職業にも負けない魅力があるということを知った。



(全体会：柴田課長挨拶)



(全体会：研修報告①)



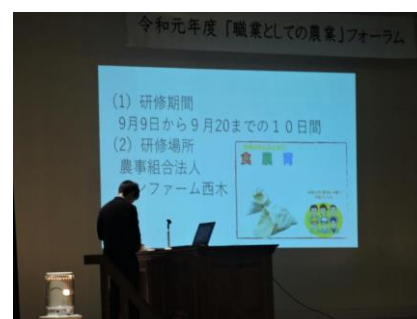
(全体会：研修報告②)



(全体会：研修報告③)



(全体会：研修報告④)



(全体会：研修報告⑤)



(全体会：事例報告①)



(全体会：事例報告②)



(分科会①)



(分科会②)



(分科会③)



(分科会④)



(分科会⑤)



(分科会⑥)



(分科会⑦)